

令和5年度 宗谷総合振興局管内雪害対策連絡会議

昨今の雪害の教訓を踏まえ、関係機関における情報共有及び連携強化を図ることを目的に開催

< 次第 >

1. 開会
2. 議題
 - ・宗谷総合振興局雪害対策連絡会議について
 - ・昨冬の雪による被害状況について
 - ・北海道の雪害対策について
3. 今冬の気象見込み等について
4. 閉会

< 参加機関（約70名参加） >

- 防災関係機関
 - ・陸上自衛隊第2師団第3即応機動連隊、
 - ・航空自衛隊稚内分屯基地第18警戒隊
 - ・稚内開発建設部・稚内地方気象台・宗谷管内市町村
 - ・関係消防組合・関係警察署・稚内海上保安部・宗谷総合振興局
- 事業者団体
 - ・旭川地区トラック協会稚内支部・旭川地区トラック協会南宗谷支部
 - ・宗谷バス（株）
 - ・北海道電力ネットワーク(株)稚内ネットワークセンター
 - ・ " 浜頓別ネットワークセンター
 - ・ " 天塩ネットワークセンター
 - ・稚内建設協会・北海道旅客鉄道（株）
 - ・商工会（稚内市、猿払村、豊富町）
 - ・一般社団法人稚内観光協会
- 関係機関
 - ・北海道運輸局旭川運輸支局稚内庁舎・稚内空港事務所
 - ・北海道エアポート（株）稚内空港事業所

【開催日時】

令和5年11月13日（月）13時30分～14時00分

【開催場所】

宗谷合同庁舎2階講堂 ※一部オンライン開催



（会議の状況）



（会議の状況）



（宗谷総合振興局からの情報提供）



（稚内地方気象台からの情報提供）

宗谷管内による「1日防災学校」の取組

北海道における1日防災学校とは

〈実施要綱より抜粋〉

- 各学校等において**防災に関する授業や体験活動**を行う。なお学校等の実情に応じて**防災専門家による講義や地域と連携した防災訓練**を実施する。
- 防災に関する授業等は必要に応じて**道・市町村担当部局や警察、消防本部等の防災関係機関の協力を得て実施する。**

宗谷管内実施校（小・中・高・特別支援）

- (R1) 2市町村 2校 (R2) 全10市町村 12校
 (R3) 全10市町村 16校 (R4) 全10市町村 60校
R5: 全10市町村 64校【公立の全小中高で実施】

主な協力機関

- 市町村 ・市町村消防
- 地域防災のリーダー ・気象台
- 道開発局 ・道警察 ・陸上自衛隊
- ほくでん ・NHK ・町内会等
- 北海道（振興局、教育局） など

一日防災学校 全道立高で

今年度 実施へ

災害への意識向上期待

ハザードマップを見ながら津波の際の避難経路などを話し合う生徒たち（1日、平取町）



地域の関係機関と連携し、小中高などで防災に関する授業や体験活動をする道の事業「1日防災学校」が2023年度、全ての道立高校189校で実施予定であることが、道教育委員会の取材でわかった。22年度は独自実施の札幌市を除いた全178市町村の公立学校で行われており、道や市町村の教育委員会は子どもたちの防災意識の高まりを期待する。

平取町の平取高校（生徒数38人）は、防災の日の1日に「1日防災学校」を実施し、生徒たちが巨大地震に備えた図上訓練に取り組んだ。訓練は、巨大地震により、沙流川の河口に高さ10メートルの津波が襲ったとの想定で行われた。平取町は川上にあたり、生徒たちはハザードマップを見て、川を遡った津波によって自宅が水没する恐れがあることを知った。「避難の際は土砂や浸水地域に気をつけなさい」と互いに注意喚起しながら避難場所や避難経路について話し合った。

3年の西山龍輝さんは「津波に遭った際の逃げ道は思ったより少なかった。安全な高台がどこなのかわかってよかったと話した。またこの日は、東日本大震災で津波が押し寄せた宮城県石巻市立大川小に通っていた娘を亡くした男性のオンライン講話も聞かれ、生徒たちは真剣に聞き入っていた。「1日防災学校」は18年度に始まった。内容は避難訓練や講話だけでなく、非常食の調理や段ボールベッドの設置など様々で、各校が実施日を決める。各振興局が調整役となり、自治体や消防などから派遣された職員が講師を務めるのも特徴だ。1日かけて行う学校もあり、実施校は18年度が33市町村43校だったが、22年度に道立高が加わり、23年度は178市町村611校に上った。23年度も7月末時点で165市町村674校で実施が決まっている。

特に熱心なのが宗谷総合振興局管内で、22年度は全小中学校57校で実施。子どもたちに防災意識を持ってもらうだけでなく、子どもを通じて家族や地域での意識向上が期待できるとして、宗谷教育局や各市町村教委が積極的に学校に働きかけている。さらに稚内地方気象台や陸上自衛隊も協力し、地域を挙げた取り組みとなっている。宗谷教育局の松浦隆史教育支援課長は「子どもたちが将来、災害が起こった際には、地域と連携する立場になれば」と意義を語る。

一方、札幌市は、23年度に災害を学ぶ電子教材「こぼろそなえ箱」を独自に製作し、市立学校の授業で活用されている。

（令和5年9月2日 読売新聞（北海道版）掲載記事）

宗谷総合振興局危機対策室「1日防災学校」へのサポートについて



T

Toilet (トイレ)

・災害時のトイレについて



・Doはぐ（避難所運営ゲーム）リアル型



K

Kitchen (食)

・災害食の説明



・防災グッズの展示



・防災かるた



B

Bed (ベッド)

・段ボールベッドの説明



管内6校で出前授業を実施【R5年度実績】

- ・稚内南中学校【稚内市】
- ・稚内港小学校【稚内市】
- ・鴛泊小学校【利尻富士町】
- ・鴛泊中学校【利尻富士町】
- ・幌延小学校【幌延町】
- ・稚内養護学校【稚内市】